

# JIS

## 表面実装技術－はんだ接合部耐久性試験方法 －第 1-2 部：横押しせん断強度試験方法

JIS C 62137-1-2 : 2010

(IEC 62137-1-2 : 2007)

(JEITA/JSA)

平成 22 年 5 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 電子技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	酒 井 善 則	東京工業大学
(委員)	加 藤 泰 久	日本電信電話株式会社
	尾 村 博 幸	日本ケミコン株式会社
	正 源 和 義	日本放送協会
	川 瀬 正 明	千歳科学技術大学
	窪 谷 耕 造	社団法人電子情報技術産業協会
	栗 原 正 英	社団法人日本電子回路工業会
	桜 井 貴 康	東京大学
	田 中 宏	総務省
	幡 野 喜 子	三菱電機株式会社
	平 川 秀 治	株式会社東芝
	増 田 岳 夫	財団法人光産業技術振興協会
	森 紘 一	富士通株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 22.5.20

官 報 公 示：平成 22.5.20

原 案 作 成 者：社団法人電子情報技術産業協会

(〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル TEL 03-5218-1050)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：電子技術専門委員会 (委員長 酒井 善則)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電子標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 一般事項	2
5 試験装置及び材料	3
5.1 横押しせん断強度試験装置	3
5.2 横押しせん断ジグ	3
5.3 拡大鏡	3
5.4 走査電子顕微鏡 (SEM)	3
5.5 リフローソルダリング装置	4
5.6 試験用基板	4
5.7 接合用はんだ	4
5.8 ソルダペースト	4
6 リフローソルダリングによる取付け	4
7 試験条件	5
7.1 温度急変試験	5
7.2 横押しせん断強度試験	5
8 試験	5
8.1 試験手順	5
8.2 前処理	6
8.3 横押しせん断強度試験の初期測定	6
8.4 温度急変試験	6
8.5 後処理	6
8.6 横押しせん断強度試験の中間測定又は最終測定	6
9 試験結果報告書に記載する事項	10
10 製品規格に規定する事項	10
附属書 A (規定) 横押しせん断強度試験方法	11
解 説	13